

日本の建設技術を教える

3年で80人が日本企業に就職

—ベトナムの国立2大学と教育提携—

アース建設コンサルタント(株)



教育協定の締結式

少子高齢化による就業人口の減少に伴い、建設技術者の不足が危惧されている。アース建設コンサルタント(株) (濱村浩司社長、宮崎市出来島町) は、ベトナムの国立大学と教育協定を結び、日本の建設技術を教え日本の建設企業で働ける高度外国人材を育成する事業で成果を挙げている。これまで3年間で約100人の卒業生のうち約80人(内定含む)が北海道から九州まで全国の中小建設企業などに就職し活躍している。



日本文化の授業のようす

同社は、日本の高い建設技術を指導移転できる教育の場を設立するため、2015年6月にベトナムのホーチミンにある建設省ホーチミン市建設短期大学(3年制)、運輸省交通短期大学(3年制)、建設専門学校(2年制)

と教育協力協定を締結した。ベトナム国立大学と日本企業が教育協力協定を結ぶのは初のケース。

JCTコース

同年10月から日本建設技術コース「JCTコース」(Japan Construction Technology)の運営に携わる。同短大等で2年以上建設技術を学んだ生徒を対象に1年間、日本語・日本文化・日本の建設技術を座学と実習を交えて教育している。

同コースは、①2年間もしくは3年間の基礎的な建設の知識を有する学生に、1年間で日本の建設技術を座学と実技実習を通し学習する。日本人講師が講義、実習を指導。実習資材は日本の資材を使用している。②日本語、日本文化も重点的に勉強。特にビジネス場面での会話を



型枠建込みの実習のようす

想定して教育。③建設技術では工程管理、安全管理を習得することを目的に、RC造を想定し、一実施施工図面から施工図・躯体図を起し型枠建込みまで習得する。④仮設足場に関する安全衛生工学も実習で習得させる。⑤コース修了後には、終了証と短期大学の卒業証明書を授与する。

TCTコースを開設

また、18年8月にベトナム農業・地域開発省が設立した国立4年制トゥーロイ大学とも協定を結び、10月から新たな教育コース(Technology Course in Thuyloi)を開講した。同大学は、治水・利水分野ではベトナム最高峰の教育機関で、ハノイ本校、ホーチミン分校をはじめベトナム全土に20以上のキャンパスを有するマンモス校だ。

TCTコースは6ヶ月間の短期集中コースで、10月～3月、4月～9月の年2回開講。国土交通省が推奨するi-Constructionに対応すべくCADの授業に力を注ぎ、より土木に特化したカリキュラムとなっている。



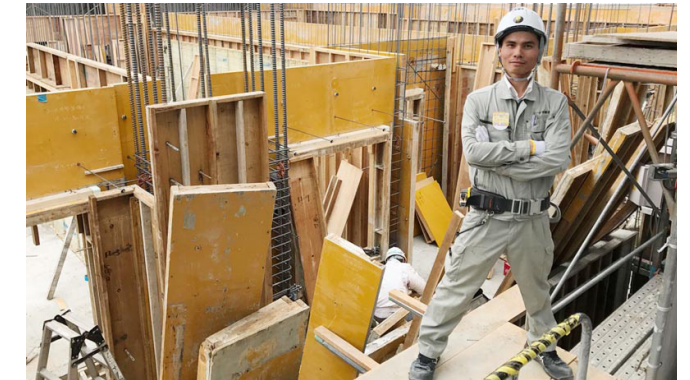
JCTコースの生徒たち

日本の建設企業に就職

両コースの卒業生約100人のうち、3年間で約80人(内定含む)が日本の建設会社に就職した。北海道から九州まで主に中小の建設企業が多いという。同コースの一番の特長は、日本の企業へ技術ビザで就労できるということだ。技能実習生のように就労期間が決まっていることはなく、職務もより技術的なことができる。就職先

の業種は、約半数が土木系で、残る半分がほぼ同数で建築系と測量などのコンサルタント系となっている。

就職先の申請職種を見てみると、建築施工管理や・品質管理(施工図の修正、施工出来高、施工状況の写真撮影、記録)、工程管理(施工状況・スケジュールの監視)、安全管理(安全書類の作成、整理)、土木施工管理、写真撮影、データ管理(道路の現状を撮影(数万枚)し、パソコンを用いてデータを管理するとともに、これに基づく報告書を作成)、測量、図面作成(測量後、算出した数量をCAD等を用いて図面化、若しくは既存図面の更新)、現場監督助手(施工作業のサポート)—と少しずつ実績を積み上げている。



建築現場で



CADなどの図面作製も

高度外国人材と「特定技能2号」

日本社会は少子高齢化で就業人口の不足がいわれ、将来的にはより加速する。日本の在留外国人は既に200万人を超えている。こうした時、建設業においても、高度外国人材は不可欠な存在となるだろう。

この4月に施行される改正入管難民法で建設業は、熟練技能が必要とされる新たな在留資格「特定技能2号」の対象となる。20年3月までに同制度が施行される、といわれている。同技術者を採用する企業を「特定技能所属機関」と呼び、登録を支援する機関を「登録支援機関」と呼称。業界上部団体などの指定が検討されている。

同社の海外事業を担当する長友亮氏は「両コースを受講する学生は日本の建設業で働くことを目標に、勉学に励んでいます。日本の漢字など苦手な部分はありますが、日本の建設技術を理解し、将来的に優れた若い労働力として日本の建設業を少しでも下支えしてほしい」と話す。